



国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB

## CLUB WEEKLY BULLETIN

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30  
 会長：西山俊明 幹事：新井性哲 会報委員長：延秀恵

創立年月日／1990.2.27  
 事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
 TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

### 2013年12月3日 第1115回例会(第1114号)

#### ○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「君が代・我等の生業」

卓話 「防犯について」

吹田警察

奥田 衡様

#### ○○ 次回例会のお知らせ(12月14日) ○○

「クリスマス家族会」

#### 前回【11月26日】例会記録

##### 来客

柳勇多君(関大RAC)

水谷仁美さん( " )

##### 会長の時間

西山会長

##### JAL再建 稲盛会長の理念

日本航空が2010年1月19日に経営破綻し、会社更生法の適用を申請した。また、同2月20日上場廃止となった。しかし、2012年9月に再上場した。会社更生手続き申請から再上場まで2年8か月という短期間での再建は、ある種の奇跡です。

稻盛名誉会長が、会長就任の挨拶で、社員たちに強く訴えたことは、次の言葉です。

「新しき計画の成就是只不屈不撓の一心にあり、さらばひたむきに、只想え、気高く強く、一筋に。これは、思想家、中村天風氏の言葉です。具体的には、更生計画を着実に実行するためには、どのような環境の変化があろうとも、それを言い訳にすることなく、一人ひとりの社員が当事者意識をもち、目

##### 出席報告

田中(弘)委員長

##### 【11月26日】

在籍会員 34名(内出席規定適用免除者 10名)  
 出席会員 28名(内出席規定適用免除者 6名)  
 ホームクラブ出席率 93.33%

11月5日のMUを含む出席率 96.55%

標達成に向け、純粹で強い思いをもって、必死の努力をする以外にはないということであった。強い思いを胸に抱いて再建にあたらなければならぬと訴えたのです。具体的な事例として、次のようなことがあったと、現在の会長及び社長は述べられています。

1. 会議は結論を得るまでやる。そのおかげで、一つひとつの案件に対し、皆が納得して、物事が確実に前に進んでいきました。
2. LCCのジェットスターとの提携交渉で、「なるべく自分の手の内は明かさず、いい条件を勝ち取ってきます」ということを話しました。すると、共同事業をしようと思っていたら腹の内を全部さらけ出してこい。最初にそれをやらなくて共同事業など決してできないというものです。
3. 国内の単独路線の運賃の話です。独占の路線はほかよりも若干高めになります。そのことを話した時に、「おまえたちな、そういう単独路

##### 関西大学RAC例会出席担当

12月9日(月)通常例会・16日(月)移動例会

出席：山崎、東、堀田、北山、長島、

田中(茂)、渡辺各会員

会場：関西大学千里山キャンパス

中央体育館 図書資料室

時間：18:50~19:50

## 卓 話

「ロータリー財団月間に因んで」

(11月19日・1113回)

西 本 健 二 ロータリー財団委員長

ロータリー財団月間に因んで卓話をさせていただくことは、財団委員長の責務であるクラブと会員がロータリー財団へ寄付を行うよう働きかけ、会員にロータリー財団について理解を深めていただくためでございます。

ロータリー財団への寄付は3種類ございます。年次基金は財団の主となる資金源で3年間据え置いた後全額が補助金として使われます。次に恒久基金は最低限度のプログラム活動の継続と将来の新プログラム等のために、使用せずに基金として積み立て、投資収益が財団活動費の支援として使われます。最後に使途指定基金はあらかじめ使い道を決めて寄付する基金で代表的なものにポリオ・プラスがございます。寄付者に対して感謝のしるしを表すものが認証とよばれるものです。年次基金累計寄付1,000ドル以上に与えられるポール・ハリス・フェローや、恒久基金1,000ドル以上にあたえられるベネファクターなどがございます。ロータリアンにとって奉仕の精神の実践には色々な方法があると思いますが、多額の寄付行為は最もわかりやすく、かつ最も称賛される行為であると私は考えます。

以上で財団への寄付の重要性をご理解いただけたら幸いです。

次に我々は奉仕活動団体として寄付のみならず、この財団補助金を活用して地域社会への奉仕活動をすることも必要であると考えます。制度が変わり地区補助金の申請が簡素化され、2660地区内でも44クラブが地区補助金を活用して社会奉仕・人道的国際奉仕・災害復興・奨学金といった奉仕活動を行っております。費用効率よく奉仕活動を出来るメリットを受けて当クラブも奉仕活動を行うと良いと考えます。

ロータリーカードに関しましては使用額の0.3%が東日本震災復興基金に寄付されていますがその総額は800万円を超える金額になっているという事実を知りたいと思います。本日の卓話の最後として「ポリオ撲滅はもう少し」と申し上げます。

柳勇多様、水谷仁美様の卓話「海外研修及び万博国際マラソンボランティア参加報告」は、次回に掲載します。

今回担当：延 秀 恵